

令和6年 業種別労働災害発生状況

(4月末現在)

小樽労働基準監督署

業種別	令和6年			令和5年			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		92	92		91	91	1	1.1	100.0		354	354
製造業		17	17		19	19	-2	-10.5	18.5		63	63
食料品		10	10		12	12	-2	-16.7	10.9		37	37
木材・家具					1	1	-1	-100.0			2	2
紙・印刷								-			1	1
窯業・土石					1	1	-1	-100.0			1	1
金属・機械		1	1		2	2	-1	-50.0	1.1		5	5
その他		6	6		3	3	3	100.0	6.5		17	17
鉱業												
鉱山									-			
土石採取業					1	1	-1	-100.0			1	1
建設業		5	5		7	7	-2	-28.6	5.5		21	21
土木工事業		3	3		5	5	-2	-40.0	3.3		11	11
建築工事業									-		3	3
木造建築業		2	2				2	-	2.2		5	5
その他					2	2	-2	-100.0			2	2
交通運輸事業		7	7		11	11	-4	-36.4	7.6		26	26
陸上貨物運送事業		5	5		4	4	1	25.0	5.4		18	18
道路貨物運送		5	5		4	4	1	25.0	5.4		17	17
陸上貨物取扱									-		1	1
港湾運送業		1	1				1	-	1.1			
林業		1	1				1	-	1.1			
水産業		1	1				1	-	1.1		4	4
卸売業・小売業		11	11		8	8	3	37.5	12.0		41	41
清掃・と畜業		5	5		6	6	-1	-16.7	5.4		12	12
上記以外の事業		39	39		35	35	4	11.4	42.4		168	168

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したものであり、前年同期との対比になります。

時間外・休日労働時間が月80時間を超えたら医師による面接指導を実施しましょう！

建設工事着工期労働災害防止運動
 ~「着工期」こそ、安全対策の「質」を決める時期~
 令和6年4月1日~令和6年6月30日
 この時期に、安全衛生教育の充実、安全衛生管理体制の再確認、
 安全意識の定着を最重点として、各種の取り組みを行ってください。

令和6年 業種別労働災害発生状況(その2)

(4月末現在)

小樽労働基準監督署

区分 業種別	令和6年			令和5年			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
第三次産業(抜粋)		32	32		27	27	5	18.5	34.8		146	146
小売業		11	11		7	7	4	57.1	12.0		37	37
社会福祉施設		18	18		13	13	5	38.5	19.6		96	96
旅館業		2	2		3	3	-1	-33.3	2.2		8	8
飲食店		1	1		4	4	-3	-75.0	1.1		5	5
上記以外の事業(内訳)		39	39		35	35	4	11.4	42.4		168	168
農業								-			7	7
畜産業								-				
理美容業・ その他商業								-			1	1
金融・広告業		1	1				1	-	1.1		1	1
映画・演劇業								-				
通信業		6	6		2	2	4	200.0	6.5		8	8
教育研究業					1	1	-1	-100.0			1	1
保健・衛生業		21	21		20	20	1	5.0	22.8		126	126
接客・娯楽業		4	4		8	8	-4	-50.0	4.3		16	16
官公署								-				
その他の事業		7	7		4	4	3	75.0	7.6		8	8

令和6年 死亡労働災害発生概要
(4月末現在)

小樽労働基準監督署

	発生日	業種	性別	災害発生状況	事故の型 起因物
1				発生していません	